

石狩川 いしかりがわ

佐々木 岳甫 ささきがくほ

長江嶽を截つて溪流を發し ちやうこうやまたたけいりゅうをほつし

激作潭と為つて石州を下る げきさなたんとなせしゅうくだる

清濁併せ吞む三百里 せいだくあわのさんびやくり

時時流れに泛ぶ水悠悠 じじながれにうかぶみづゆうゆう

【作者】佐々木岳甫（一九〇七〜一九八〇年）（明治四十年〜昭和五十五年）、現代漢詩家、札幌の人、宣伝美術家、クラブ工芸社長の傍ら吟詠評論家として活躍した。昭和五十五年七十三歳で没した。